加茂里山通信（かもさとやまつうしん）

平成２４年
夏号

発行　市原商工会議所
加茂里山通信編集部
発行責任者・編集長

7分団おしくも準優勝！

消防操法大会は消防操法の基準に基づいて、正確・安全・迅速なポンプ操法の習熟を通して、消防技術の向上と団員の士気高揚を図ることで、地域防災体制を確立することを目的に、例年開催されています。昨年は大震災のために自粛されましたので2年ぶりの開催となります。

加茂支団大会は6月17日、市原市の大会は7月8日に開催され、7月29日には県大会が行われます。大会結果は次の通りです。

◎加茂支団大会
優勝　7分団（折津、大久保、国本）
準優勝　8分団（月崎、柳川、菅野、石塚）
3位　2分団（高滝、不入、大和田、馬場）
個人賞
指揮者　坂本　理（7分団）
1番員　中澤辰則（8分団）
2番員　鈴木清司（7分団）
3番員　宗証愛主（8分団）

◎市原市大会
優勝　姉崎支団
準優勝　加茂支団
3位　南総支団
個人賞
指揮者　坂本　理（7分団）
1番員　平田悟一（加茂）
2番員　鈴木清司（加茂）
3番員　廣原一智（姉崎）

加茂支団と姉崎支団は審査点で同点となり、2秒のタイム差で惜しくも加茂支団が優勝を逃す結果となりました。市大会の当日はあいにくの雨天となり、足元が滑りやすいコンディションだった事が勝負の明暗を分けたように思います。加茂7分団は　練習では40秒を切る事が普通であったものが　タイムより着実な操作に主眼を置いたことが2秒に現れてしまいました。しかし、選手の皆さんは市の代表を自指して全力を出し切った事に変わりはありません。地域の皆さんの惜しみない拍手をお願いしたいばかりです。

操作員の中に大会2週間後に結婚式を挙げる予定の者がおりましたが、新婚旅行の予定も変えて、精一杯消防に集中していました。地域のために、がんばれ消防団。

（大曽根十里山通信員）

各小学校最後の運動会

里見小学校

最後の運動会を祝福するようなすっきりとした青空のもと、里見小の運動会が行われました。里見小は今年創立100周年目を迎えています。そしてこの日が100年の歴史の最後の運動会となりました。

強い日差しの下でも子供たちは全く元気で、ほとんど出ずっぱり状態でがんばりました。まずは応援合戦から。1年生から6年生まで全員の参加です。団長は赤組も白組も女子。声高らかに団結と勝利への闘志をみんなで競い合います。卒業生の中学生たちがいろいろな場面でバックアップしていきます。自分たちの育った小学校と後輩たちのために、彼ら彼女たちも大活躍でした。学校の歴史にまつわるクイズなども折り込まれ、また年配者も一緒に参加する競技もあって会場全体が参加する運動会でした。それでもやはり運動会の花は綱引きとリレーです。みんなが一緒に参加して力を合わせ競い合う競技は誰が見ても面白いものです。1年生から6年生までの子供たちが必死に走ります。バトンが飛び、互いが絡まったり、順位はその度に入れ替わって最後まで目が離せませんでした。

この日の運動会を子供たちはきっと生涯忘れることはないでしょう。

（従矢里山通信員）

高滝小学校

平成24年5月19日に高滝小学校最後の運動会が行われました。1年生から6年生まで全員が主役となって全力で頑張りました。また、中学生も保護者、来賓の方々など、できるだけ大勢の方たちに参加していただきました。

私事ではありますが昨年度のPTA会長に続き今年も顧問として残留したのですが、長い歴史の中にあるこの高滝の運動会を誇りに思います。

加茂地区が小中一貫校になっても各地区の良さを出した運動会や体育祭にできるようになったらいいなと考えます。その素晴らしさを我々地域の人間たちが子供たちに伝えていかなければと思います。

高滝小、140年の歴史に感謝です。

（酒巻誠里山通信員）

白鳥小学校

白鳥小は昭和47年（たぶん）に統合した小学校ですから加茂地区の他の小学校に比べて歴史は浅いものの、地域の大事な学校として多くの皆さんに大切にされてきました。今回、最後の運動会を迎えて、第1回卒業生である私としては　多少感傷的な気持ちになるかと思いましたが、卒業した加茂中の生徒さんが駆けつけてくれて、これまでとは雰囲気が変わった、大きく盛りあがった運動会になりました。来春開校する小中一貫教育校でも、こんな充実した運動会が行われると思うと、地域の大きな行事として育っていくのではないかと、期待感が膨らみました。がんばれ加茂の子供達。

（大曽根十里山通信員）

富山小学校の運動会は伝統的に秋の開催になっています。それこそ加茂地区小学校の最後の運動会となります。昨年も紹介したように線香花火音頭と縄ないリレーという、他地域にはない伝統的な種目があります。地域の皆さんと作り上げる家庭的で暖かい雰囲気の特色のある行事になっていますので、皆さんもぜひ見学してみたらいかがでしょうか。

（里山通信編集部）

加茂来くらぶ便り

ニイニイゼミの夏がやって来た

梅雨の合間だというのに夏空のような雲と暑い日が続いています。気が付けば朝晩にニイニイゼミが鳴いています。今年もまた暑い夏がやってきました。

そろそろロンドンオリンピックも始まり、日本選手の活躍を期待したいところです。とくにメダル候補にあげられるいくつかの競技については、寝不足を覚悟しそうです。また7月十一日には高校野球の千葉県大会も始まり、前判の高い高校のレギュラーとして出場する球児が近くにいることもあり、これもまた楽しみにしているところです。高校生も昔とはずいぶん変わったように感じますが、全力でのプレーや負けて涙する姿は不変で、観戦するファンに多くの感動を与えてくれます。今年も臨海球場や袖ヶ浦球場には何度か足を運びたいと思っています。

ところで、昨年は諸事情で開催を見送った市民花火大会が今年は例年通り八月十四日に開催されるということです。家に居ながらにして花火が見られる環境に住んでいるのですが、今年はがりは父と義兄の新盆が重なり少しばかり気の重いお盆となりそうです。

（吉沢里山通信員）

ホタル見ながらいっぺいやっぺー

べっぺ語

A「このあいだいきなりおもいたってよー、ホタルみにいったけよー、えれーきれいだったど」

B「だっといっただかーしんねーけんが、あんばしょは、うっさみしーて、きみがわりったっぺ」

A「あんが、あーらへんのひとたちがきれーにしてあってよー、くっちゃめんくっかかれることもねったっぺ」

B「そんだっぱ、こんど、こどもでんつれてみにいってんべー」

A「だけんどよー、蚊がしっかーいっから虫よけスプレーもってたほうがいいど」

B「ちょーどよう、このあいだ腰からぶら下げる蚊取り線香かったばっかだかん、それふっちゃげていくべー。そんで、けーりんおめーんちんよっからよ、虫かごに二、三尾おせていっから蛍みながらっぺいやっぺー」

ということでいつもどうり飲むことにめのないB君なのである。

（吉沢里山通信員）

魚屋の戯言

平賀源内とうなぎ

今年も日本に夏がやってきました。夏といえば土用丑の日。土用丑の日と言えばうなぎです。古くからの言い伝えで土用丑の日に頭に「う」のつく食べ物を食べると夏負けしないと言われてたそうです。江戸時代は脂肪の強い食べ物は上品とされ、まくろのとろやうなぎなどは敬遠されていて、うどん・瓜・梅干しが人気だったようですが平賀源内が夏場に売り上げが落ちて困っていたうなぎ屋に相談されて考えたのが「本日土用丑の日」と大書されたのぼりのキャッチコピーでした。それでも丑の日とうなぎがすく結びつく江戸の町民は少なく、のぼりを見て首を傾げる人がうなぎ屋の主人に「物知りで有名な平賀源内先生が書いてくれたんだから間違いない」と説明を受けてやっと理解できたのです。夏の暑さで参ってる身体にビタミンAなどを豊富に含む栄養価の高いうなぎを食べれば覿面の事に元気が出ます。お客さんが続々詰めかけ、大繁盛店となったそのお店を見て他のうなぎ屋さんが黙ってるはずがありません。どんどん真似するお店が増えてあっという間に土用丑の日にはうなぎを食べるという習慣が広まったという説が有名ですが、実は源内じゃなくて養生訓の貝原益軒だという説もあって実際のところははっきり分かっていません。万葉集にも夏痩せにはむなぎ（うなぎの古い呼び方）召しませの言葉が残されていて栄養価の高い食べ物であることは古くから知られていました。ところで土用は年に四回、四季折々に十八日づつあります。何年か前にチェーン展開してるスーパーマーケットやコンビニで春の土用にもうなぎを売り出そうという企画がありましたが最初はあまり聞かなくなりました。やはりうなぎには夏の暑さが似合うようです。

うなぎが大変なことに

ところがそのうなぎが今年は大変なことになってます。これだけ人気のあるうなぎなのに研究が進まず、未だに生態がはっきりわかっていません。二〇〇九年の二月になって太平洋の深海でようやく世界で初めてうなぎの卵が三十一個発見されたニュースをご記憶の方もいらっしゃると思います。卵の存在を確認できなかったということは養殖も種苗であるシラスウナギを捕まえるところから始まります。そのシラスウナギの値段が三年連続で高騰していてそれに伴ううなぎの値上がりも止まりません。一昨年あたりからひとつづつ続いていた値上がりが去年の暮れから一層激しくなり、三年前の同時期と比べて二倍近い値段になってます。年に一度の事なのでできるだけお求め易い価格にしたいと思いつつも仕入れ以下にすることもできないのでこのまま値上がりが続けば日本の食卓からうなぎが消えてしまう日が来るかもしれません。なんとか稚魚が増えて元の値段に戻ってくれることを祈るばかりです。

（鈴木里山通信員）

ホタルよ来い！

さる6月3日から10日まで、上古敷谷里山でホタル祭りが開催されました。毎年、一年間の集大成として、メンバー総出で草刈りや地直しを行った里山で、ホタルの観賞会を一般の方々も交えて行っています。

当初、今年のホタル祭りを開催するにあたり、気温が上がらなくホタルが飛び立つ状態も厳しいのではないかとの声もありました。しかしながら富山小学校の児童が作った行燈の効果もあったのかもしれませんが、前夜祭近くから里山の木々の合間にホタルが見られるようになりました。

夜7時半すぎから約1時間ほどの観賞会と、時間も今年のホタルはきっちりした所がありました。前回から観賞できるエリアをロープ等で区切り、安全面（通路に降りると足元が悪い）も確保しましたが、観賞範囲が変わってしまいました。次回からは観賞場所の拡大も検討されています。ホタル祭りが終わった後も、里山のホタル達は下流方向に広がっていっています。今後も富山地区のホタルは時期を変え、種類を変え確認されていくことでしょう。ひっそりと増えつつあるホタルを守っていくことが、富山地区に住む者としての役目なのかもしれません。

（矢代里山通信員）

次回は10月25日発行予定です。

「大地の芸術祭」見学ツアー

越後妻有アートトリエンナーレ2012

日時　平成24年8月18日～19日
行先　新潟県十日町市「大地の芸術祭」越後妻有アートトリエンナーレ2012
宿泊　越後六日町温泉本一「越路荘」
行程1日目　加茂八良館－牛久－五井－高速道路－十日町市（芸術祭見学）－六日町温泉
2日目　六日町温泉－十日町市（芸術祭見学）－高速道路－市原IC
料金　25000円（交通費・宿泊費・昼食代・作品鑑賞代）
募集人員　40人
申込・問い合わせ　市原市経済部観光振興課　アートフェスティバル推進課　（23）7013

・圏央道の工事が急ピッチで進められています。高滝地区から田尾に向かうところも、パーキングエリアとなる部分を含めて多くの車両やクレーン車などが動いています。東金までの開通が予定では来年3月です。これまで何回も完成が延期されてきた工事ですが、今回は期限に間に合いそうです。完成するとゴルフ場に行く車など、他県から来る車の流れが変わります。また、こちらからも横浜に行ったり成田方面に行くのに時間が短縮されます。東金から先が開通するようになれば、都心を通らず笠間や益子に行って焼き物を見たり、福島方面にも時間を短縮していくことが出来ます。

・5月に南会津地方に行ってきました。新緑の素晴らしさは紅葉の素晴らしさを物語りますから、秋にもう一度行きたいものです。ここにはない雄大な自然が福島にはあります。「謝礼はいらない」と言って無償で講演とショーのために来てくれる斉藤一彦氏とフラガールたちのために、みんなで福島に行くことが一番の御礼になるのではないかと考えています。

（従矢里山通信員）

編集後記

紙面及び記事に関する意見・お問い合わせは左記へ
市原商工会議所
0436（22）4005　担当・鵜崎まで
Eメール　shimozaki@i-cci.or.jp

房総・養老渓谷の地酒お土産は
養老渓谷駅前
角屋商店
養老渓谷観光協会窓口
市原市朝生原181
TEL0436－96－1108
FAX0436－96－0052

愛車のある幸せな暮らし応援します！
安全・安心
有限会社　全日本ロータスクラブ加盟店
小茶自動車
市原市石神227
TEL0436－96－0482
FAX0436－96－1293

皆様と共に歩む観光

青い空と水に浮かぶ白い雲
バス釣り真っ盛り！
高滝湖観光企業組合
TEL　0436-98-1277

里山からの発信

いかにして危機に対処したのか

風評被害は続く

市原産のタケノコが放射能の許容値を超えたということで出荷停止になり、また椎茸も打撃を受けたということがテレビで流され、この市原産の他の物までが同じように見られ売り上げが落ちたということを聞きました。他の地域からはそんな風に見えているということに地元の人間は柔外気付きにくいものです。又、この千葉県でも昨年の震災後の影響や風評被害は殊に観光関係には厳しく、お客さんのキャンセルが相次いで、閉めざるを得ないところまで追い込まれたところもあります。外国から見たら日本の首都圏近郊までが汚染されているのではないかというのが当初の反応で、それまで多かった中国人旅行客などが一気に減り、その人たちを主なお客さんとしていたところは大打撃を受けました。しかしその補償はまったくされていません。福島では観光、農業、水産業など、あらゆる業種において実害の他にいわれなき風評被害を被っています。昨年の原発事故後に、福島県ナンバーの車がスタンドで拒絶されたり、避難した住民の子供たちが差別されたり、ここには想像できない風評被害があっていました。これを克服し、事故以前の状態にまで持っていくにはまだまだ長い年月を要すると思います。

スパリゾートの対応は

2009年秋号の通信でフラガールのスパリゾートハワイアンズのことに触れたことがあります。「『ふるさと』を救え！」とした記事の中で、炭坑の閉山、バブルの崩壊という2度の危機を乗り越えたことを踏まえ、常にリピーターを飽きさせない工夫が必要であるという斉藤社長の言葉を紹介しました。このスパリゾートも昨年の震災と後日の余震での被害で半年以上の閉館を余儀なくされました。まさに3度目にして最大の危機でした。たまたま震災の当日、ある雑誌記者が家族旅行でここに行き、到着してから1時間半後に被災しました。この時のこの会社の対応を記事にしたものがあります。スパリゾートではライフラインがすべて止まっており、おそらくは従業員の家族や家、親戚が被災していたであろう状況下で、彼らは毅然として職務を全うしていたと書いています。その行為は体ではなく、心を救ったと記しています。お客がホテルに留め置かれている間、従業員を東京駅まで車で走らせ走行可能であることを確認して「東京駅まで送ります」と言ってくれたのができる」と発表したそうです。記者は「絶望の淵にある人を、真に救うのは『情報』だ」とも『言葉』でも、まして『法律』や『ルール』などではない。『行為』だ」と述べています。

危機に直面した時に

スパリゾートは昨年3月25日の臨時取締役会で厳しい決断を迫られ、3ヶ月間の休館を決め（実際には後日の震度6の地震でプールに亀裂が走り、ホテルの建物も解体せざるを得ない程の損傷を受けて営業再開までに6ヶ月を要した）、フラガールの全国キャラバンの展開を決断しました。映画でも描かれた第1期生の全国キャラバン以来46年ぶりのことでした。「炭坑の衰退で苦しむいわきを救いたい」という思いと「原発事故でいわれなき風評被害を受けているいわきや福島をなんとか救いたい」との思いが重なったものでした。「先が見えない状態で、なかなか前を向くことができなかった」フラガールたちも「先のことを考えていこう」と気持ちを切り替えて、26都道府県、韓国のソウルを含め125カ所、247回の公演を行いました。福島ナンバーの車が傷つけられるなど、原発事故の風評による心ない事件が起きていた最中だっただけに不安もあったものの、行く先々で暖かい声援を受け、「全国に元気を届けるはずの私たちが、逆に元気をもらった」と言っています。ホテルの従業員たちも先が見えず「この先会社は大丈夫なのか」と誰もが思っていたといいます。そんなとき長崎のハウステンボスから従業員の研修をやらないかと救いの手が伸べられ、他のサービス施設にも依頼して従業員の研修を受け入れてもらい、それぞれの場所で再開の機会を待ちました。

危機に直面した時に、人や企業はどう対処するのか。そういう時にこそ真価を問われ、本質がさらけ出されます。震災時において不安を抱える多くのお客に従業員たちはどのように対応したのか。地震と津波と原発事故と風評被害という多重の災害の中で、会社の存亡を賭けて彼らはどのように対処したのか。災害時に居合わせた客の多くが再開したらまた来たいという気持ちにさせられた程の、従業員たちや会社の対応はどのようなものであったのか。そのことを知りたい思います。そこには多くのドラマがあり、また会社として生き延びていくための知恵が詰まっていることと思います。

40周年記念講演会に

ところで、市原商工会議所は今年創立40周年目を迎えます。その40周年記念事業のための委員会で、記念となる講演会をこのスパリゾートの社長である斉藤一彦氏にお願いできないかということになりました。会場の関係で口程が限定され、しかもキャラバンの公演の日程とも重なってしまったのに、市原の人間に全国に元気を届けたフラガールたちのショーもぜひ見せてもらえないかという、まったく無理を承知で手紙にしてのお願いでした。

しばらくして来た返事は、斉藤一彦氏の講演の承諾とフラガールについても最大人は派遣するというものでした。条件はただ一つ。「謝礼はいらない」ということでした。講演終了後、フラガールたちもすぐにバスで帰るとのことでした。

考えがあってのことと思いますが、心意気には心意気で応えたいと準備を進めているところです。

その斉藤氏は「スパリゾートハワイアンズにだけお客が戻ってきてもダメ。福島全体に人の流れをつくらなければならない」と述べています。原発の風評被害はいまだに福島県体に重くのしかかっています。厳しい現実はまだまだ続いています。斉藤一彦氏の講演をぜひ聞きたいと思います。

講演会は10月17日（水）10ボールにて午後6時からです。

里山の生き物たち2

鳥たちの鳴くまに

毎年、春先から鳴いているウグイスは初めの頃はホーホケキョで、それが時間が経つにつれてケキョケキョケキョケキョ・・・と分渡りといわれる熟練した鳴き方に変わっていきます。それも個々、特徴のある鳴き方である又の鳥かと春先から成長を感じさせられたものです。それが一日中家の回りの木をあちこちと飛び移って鳴くので、様々な方角から聞こえていました。今年はある時からウグイスに替わり、ホトトギスの鳴き声が聞こえてくるようになりました。ホトトギスは「特許許可局」と鳴くとよく言われますが、それとは少し違うように聞こえます。この鳥はカッコウの仲間で割と大きく、ウグイスの卵をどけて自分の卵をそこに産み、そうとは知らないウグイスに後のことはやらせてしまうという、じつにずる賢いというか、悪知恵が働くというか、要領のいいやつで、それが種全体の習性だというのですから驚くばかりです。そういうこともあってなのか、ホトトギスが鳴くようになってからはウグイスが近寄らなくなったのか鳴き声がしなくなりました。

又最近、フクロウやミミズクの仲間がすぐ隣の神社の杜にいることも確認されました。車などの交通量もあまりなかった頃は、毎晩のように家のすぐ前に立つ木に留まりにきて鳴いていたのですが、ある時から来なくなっていました。夜散歩していた友人夫婦が地面から飛び立つところに遭遇しました。夜によくギャーといった獣のような大きな鳴き声を聞くことがあったのですが、鳥たちのかと改めて思いました。

鳥の変化は環境変化のバロメーターです。圏央道が来年いよいよ開通する運びになっていますが、鳥たちの鳴き声の聞こえるままであってほしいと思います。

（征矢里山通信員）

里山の保存食

緑のカーテンで省エネ対策

グリーンカーテンとしてゴーヤを育てているかたも多いのではないでしょうか？

日差しを遮り、周囲の温度を下げ体感温度が低くなります。省エネ、節電に貢献できますね。また、ゴーヤは夏バテ防止食材といわれるくらいビタミンCなどの疲労回復ビタミンが豊富なため、季節的にもお勧めです。ゴーヤチャンプルーもいいけれど、たくさん収穫できた時にはゴーヤの佃煮をお試しください。

ゴーヤの佃煮

材料

ゴーヤ（正味）	500g
小女子	80g
砂糖	60g
ザラメ	60g
しょうゆ	100cc
赤唐辛子	1本
酢	60cc
いりゴマ	大さじ2
かつお節	15g

① ゴーヤはたて半分に切り、種とわたを除き5ミリ幅に切る。
② 小女子はさっと湯通しする。
③ 大きめの鍋に湯を沸かし、ゴーヤを15分茹でてザルに上げる。
④ 鍋に調味料、ゴーヤを入れ、水分がなくなるまで30分程煮る。
⑤ いりゴマとかつお節を入れる。

（大曽根R里山通信員）

ジーバーレストラン繁盛記その後

新年号の加茂の初夢で「ジーバーレストラン繁盛記」を書きました。「加茂にそんなレストランがあったら面白いだろうな」という夢物語だったのですが商工会議所をはじめ、通信員のところにも「どこにあるんだ」という問い合わせが多数ありました。反響の大きさに驚いています。

このジーバーレストランはまんざら夢の中のお話ではなく、実際には日本各地で開店しています。参考にしたのは大地の芸術祭の越後妻有と瀬戸内国際芸術祭の豊島で実際に運営されているレストランです。どちらも地元の食材で、地元の人が運営し、東京の有名なコックさんに料理指導を受けながら成功しています。実際に瀬戸内の豊島のレストランで昼食を頂きましたが定食が1800円。コーヒーを付けると2100円というお値段でした。昼食に2000円はちょっとお高いですが「過疎の島で」「地元の食材で」「地元の人が」という触れ込みで、それだけの料金を払ってしまいました。

豊島は人口1000人ほどの過疎と高齢化が進んだ島です。産廃の島としても話題になりました。島には小さな小中学校があるだけで、高校になるとフェリーで通学しています。高校を卒業すると若い人たちは当たり前のように大阪などに就職して、島を出て行きます。ですから島には若い人はほとんど残りません。しかし、島のレストランの店長さんと店員さんは20代の若者でした。お聞きすると、「帰りたいと思っていたところに、芸術祭と島のレストランのお話があったので帰ってきました」とのことでした。

人口3000人ほどの「直島」にも行きました。こちらでも島レストランをやっていましたが直島のやり方は個人が自宅の居間を利用して営業するやり方でした。空き家を借り受けて営業する人もいて、多くのお客は入れられないものの、改築費用がかからないという利点もあります。住宅を利用した民宿も含めると、かなり多くの営業店があるそうです。

平成26年の3月には加茂地区を中心に「芸術祭」が開催されます。どこかにジーバーレストランがきっと開店するはずです。

（大曽根・里山通信員）

彼岸花の球根を植えたよ！

小雨の降る日曜日、国本牛堀の薄周辺に「南ちはら花いっぱい運動実行委員会」より提供の二三個の彼岸花の球根を植えました。メンバーは地元国本一心会14名と実行委員会より2名、ボーイスカウト市原第5団カブ隊の親子11名です。

記念撮影が済むと川に入った子供たちは、沢ガニや貝の化石を見つけて大騒ぎでした。濡れたりもしましたが、着替え持参で思い切り楽しんでいました。

お昼は一心会の女性たちお手製のおにぎりや天ぷら、煮物、タケノコの味噌汁が並び、いっぱい遊んだ子供たちは「とても美味しい！」と言って沢山食べてくれました。子供たちからはお昼のお礼として唄のプレゼントがありました（カエルの歌）最後には一心会と子供たちが一緒に輪唱で歌い、本当に楽しいひとときを過ごすことができました。

彼岸花が咲く頃にまた遊びに来て下さいね！

（大曽根R里山通信員）

高校生のゴルフ場見学会

今年で3回目となる高校3年生の生徒たちを対象とした市内ゴルフ場の見学会を6月10日に行いました。市原商工会議所観光部会の懇談会で、「生徒たちにゴルフ場を実際に見せてあげることはできないか」ということを一人の先生が提案して実現しました。これは3年前の就職担当の先生方と商工会議所観光部会とCPGカントリークラブさんの協力で実現しました。ここ数年は市原ゴルフ場観光部会が主催し、ロッテ皆吉カントリー倶楽部さんとCPGカントリークラブさんの2ヶ所の「ゴルフ場見学会」を実施しました。今年はそれぞれの支配人さま総支配人に「社会人としての心構え」について話をしていただきました。自分の経験を踏まえ、また多くの人と接する中で磨かれた社会人として基本的なマナーなどについて熱く語っていただきました。また実際現場で働いているキャディーさんやグリーンキーパーの方たちにも話をしていただきました。生徒たちの真剣なまなざしに圧倒されて話されました。昨年やおとしに見学した生徒の中で何人かがゴルフ場に就職していました。その先輩たちが自分の仕事について話をしてくれたことは生徒たちにとっても貴重な経験になったと思います。

キャディーとして心がけていること、うれしいこと、つらいこと、そして女性でもグリーンキーパーを希望し、楽しく毎日をの仕事をしていること、などの話を聞いていて、誇りと自信を持って仕事をしている人間は光っているなと感じました。自分たち一人一人がゴルフ場の顔であるという自覚を持った大人の姿に、生徒たちも何かを感じ取ってくれたような気がします。

（征矢里山通信員）

奥宮社

真夏の到来ですが、社の森は比較的涼しく感じます。ところで神社へ来られた方は、存知かと思いますが、社殿の裏手は崖となっています。その上に神社が祀られているのを知っているでしょうか？

その社殿は奥宮と言って本殿の向かって右手にある梅の木の脇より六分程山を登っていくとあります。以前もお話しした様に思いますが、奥社が祀られている山を松尾山と云い、高麗神社の縁起によると、九三九年頃平将門が東国で謀反をおこしたとき、この山に毎夜光り輝くものが現れ、それを見た村人が登ってみると天女が現れ、「吾は松男の神である。将門討伐の秘兵の術を授けるかた吾を祀れ」と告げたとあります。そのことからこの山自体が神が宿る山として崇められてきました。その様なことから延紀二六〇〇年の記念事業の境内整備事業の一環として新たに社殿を建立することになったのです。

社殿はコンクリート製で建立よりすでに十年程経っているため痛みが激しいのですが、一般的に奥社は本社より強い御魂を祀っているので特に強い願掛けにご利益があるとされています。

皆さんも時間があれば奥社に参拝されてはいかがでしょうか。入口が分かりにくかったら神社へお尋ね下さい。

尚、参道は特に整備されていませんので登山には十分にお気をつけ下さい。

（平田里山通信員）

フィンランドからの理想の住まい、ホンカログホーム
モデルハウス公開中！
断熱効果が高く、夏に涼しいエコ住宅。地震に強く、身体に優しい家を体感してください。
ギャラリースペースお貸しします。個展を開いてみませんか？
「しそジュース」サービス中！
HONKA
www.honka.com
Today's homes. Naturally.
ホンカ房総　太陽工業株式会社 ログホーム事業部
TEL0436-95-5641 FAX0436-95-5642 http://www.honka-bousou.com

人と環境が一体となって大切な未来へ
自然環境と人間との調和を目指して
杉田建材株式会社
本　社　市原市万田野 26　TEL 0436(96)1311
市原支店　市原市惣社1－1－22　TEL 0436(24)0511
南総支店　市原市牛久450－1　TEL 0436(50)0111
URL http://www.sugita-group.com/